

2026

2

真宗大谷派京都教区教化広報誌

教区だより

第8回連載

「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授 福島 栄寿氏

特集

「是旃陀羅」問題教区学習会について

近江第2組 谷 大輔氏
良覺寺

今、この時に、親鸞聖人に会う

近江第1組 城 利枝氏
宗徳寺
東北教区 吉田 光信氏
浜組 西願寺

「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授

福島 栄寿



第8回

苦い思い出（その二）

高校生の頃の私

前回述べましたように、同級生の「お前、あの時、正直に答えへんかったやろ」との言葉に、ドキリとさせられた私は、その一言をきっかけに、中学時代の自分を省みるようになりました。そして、過去の自分の言動を思い出しては、あら探しをするようにもなりました。中学校の同級生と町ですれ違うことも避けるようになりました。

一方で、清沢満之の「請うなかれ。求むるなかれ、なんじ何の不足がある」（「絶対他力の大道」）との、自身のあり方に不満を抱くのを止める言葉を読むたびに悩みは深まるばかりでした。そんな自分の内面を正直に見つめることなど出来ず、ただ勉強に逃げるだけの高校生活を送りました。

実は、教え子たちが楽しそうに自宅へ遊びに来ていたこともあり、私は、父が教員をしていた大谷高校に進学しました。しかし、自宅でも高校でも親子で過ごすという環境は、想像以上に大変なことでした。高校に宗教の授業はありましたが、学年が上がるにつれ、自分と向き合うことを促すその時間は、苦痛へと変りました。

心の習慣の苦しみ

男子高校生が抱くような人並みの悩みもありました。「絶対他力の大道」の難解な文章も、部分的には理解が出来るようになりましたし、自分なりの理解をするようになりました。しかし、「如来」の意味などはわかりません。

この自分なりの理解とは、危険なものです。「請うなかれ、求むるなかれ、なんじ何の不足がある」の言葉は、私に語り掛けてくる言葉として感じられ、悩みは誰にも相談することなく、押し殺していたことを覚えています。このような心の習慣は、今思い返すと、高校生にとっては、相当にしんどいことであったと思います。こんな私でしたので、高校を卒業する頃には、「とにかく、誰も自分のことを知らない遠い所で、一から生き直したい」という思いを強く抱くようになっていました。

人間がなぜ悩むのか、心とはどのようなものなのか、そんな内向的な関心から、哲学や心理学を学びたいと思い、その後、予備校生活を一年送り、私は山口の地方大学へ行きました。大学では、前述したように、日本思想史学を専攻し、学問を通して自分のライ

フヒストリーに向き合うようにもなりました。

中学生の私は、なぜ、そう言ったのか。

少々思い出話が長くなりました。振り返れば、中学のグラウンドで、あの一言を口にしていなければ、私は、もう少し楽しい高校生活を送れたのではないかと、いまさらながら、強く思うのです。さらに言えば、進路選択も、その後の自己形成のあり方も違っていたかもしれません。

では、何故、私は、「顔に当って傷がついたら大変だった。女の子は将来……」の一言を口にしたのか。大谷派の「女性教化」の歴史について学ぶなかで、私は、そこに自分のライフヒストリーが関係しているのではないかと思うようになりました。



執筆者が通った大学の最寄り駅

「是旃陀羅」問題教区学習会について

部落差別問題に学ぶ同朋協議会会長 近江第2組 良覺寺

谷 大輔



『御同朋を生きる』という書籍をご存知でしょうか？

二〇二四年一月に発行され三月に全寺院に発送されていますから各寺に必ずあるはずですが、この書籍

の副題は「是旃陀羅問題学習テキスト」ですから、真宗大谷派に所属する我々

一人一人が是旃陀羅問題について学びを深めるために作成された学習テキストです。

『仏説観無量寿經』序分において説かれる「王舎城の悲劇」の中で、母親を

殺そうとする阿闍世を月光大臣が諫めるにあたり、「是旃陀羅」という言葉を使います。「旃陀羅」は古代インドから

はじまるカースト制度の外に置かれた被差別階級である「チャンダーラ」の音写です。

長年にわたって「是旃陀羅」を日本の部落差別と結びつけた教学的に誤った解釈がなされ、そして差別を助長するような教化活動を行ってきました。また読経や和讃といった儀式においても、この言葉に正面から向き合うことはありませんでした。

水平社創立の頃より幾度となく被差別部落差の方々から「是旃陀羅」を問題視する声が上がっていました。そして、

二〇一二年に部落差解放同盟広島県連合から「是旃陀羅」という言葉について、「被差別者の声を聞いてほしい」という問題提起がなされました。大谷派は「部落差別問題等に関する教学委員会」を発足させ、広島県連との対話を繰り返しつつ、教団の歴史の中で「是旃陀羅」という言葉がどのように解釈され使われ

てきたか等を詳細に調べ、かつ「是旃陀羅」という言葉を『観經』の中でどのように読むべきなのかについて、一定の見解を出しました。そして、この問題を教団全体の問題として受けとめるべく学習テキストを作成しました。それが『御同朋を生きる』です。

京都教区においてテキスト『御同朋を生きる』を学ぶ「是旃陀羅」問題教区学習会」を開催します（主催企画室）。日時は四月二十一日（火）十三時受付、十三時半開会。講師はテキストの編纂に関わられた前教学研究所長の宮下晴輝先生です。教区同朋会議として教区会議員、教区門徒会員、教化委員会委員、部落差別問題に学ぶ同朋協議会委員に参加をしていただきますが、教区人ならばどなたでも参加していただけます。

『御同朋を生きる』に書かれていることは結論ではなく問題提起です。ここに書かれたことを理解し、覚え、その結論を金科玉条の如く振りかざし、思考を止めてしまうためにあるテキストではないのです。

テキスト『御同朋を生きる』を学ぶことを出発点として、「是旃陀羅問題」を学んだ一人一人が、この問題から提起

されたことを自分自身の課題として受けとめ、学びを深めるのです。「是旃陀羅問題」をきっかけにして改めて部落差別問題を学びはじめてもよいでしょうし、教学、教化、儀式などにある差別性を問い直してもよいでしょう。

まずテキスト『御同朋を生きる』を手にとり開いてみてください。そして「是旃陀羅」問題教区学習会」にご参加いただくことを願います。

※開催案内は、七頁の「教務所からのお知らせ」に掲載しておりますので、ご予定ください。

御同朋を生きる

是旃陀羅問題学習資料

真宗大谷派（東本願寺）

編集 是旃陀羅問題学習資料
編集委員会
発行 真宗大谷派宗務所

今、この時に、

親鸞聖人に会う



ご縁に感謝

近江第1組 宗徳寺

城 利枝



私事になりますが、私は、サラリーマン家庭に育ち、幼少の頃から転勤族でお寺へ嫁ぐまで全くお寺にも真宗にもご縁がありませんでした。結婚前に赤本とCDを渡され、『正信偈』だけ覚えて嫁ぎました。夫が既に住職でしたので、見習う間もなくいきなり坊主です。これは「お寺だから?」「大津の文化?」それとも「城家の常識?」と、これまでになかった概念に戸惑い、毎日がカルチャーショックでした。ぼちぼちとお聴

聞する機会をいただきながら、なかなか真宗の教えをいただくまでに至らず、こんな私が坊主なんて相応しくないのではないかという思いをずっと持っていました。

そんな中、組坊守会長のお役をいただき、教区坊守会へ出て行くようになりまし。それまで、教区の研修会に参加したこともなく、果たしてこのようなお役が務まるのか、当初は不安でいっぱいでしたが、役員の方々は、本当に心配りの素晴らしい坊主さんばかりで、見習いたいなという良い刺激を受けながら、みなさまに助けていただきながら何とか三年目を迎えました。行事を重ねる毎に役員同士の結束も強まり、今は坊守会へ行くのがとても楽しくなっています。他の組や地区の坊主さんとも交流を深められ、お役をしなければ出会っていなかったかもしれない方々との、たくさん有難いご縁をいただいています。

今年度、近江第1組では、真宗入門講座が開かれ、スタッフ兼受講者として参加しました。前期教習のご講師の講義や座談では、毎回自身を見つめ直す機会をいただき、後期教習では、上げ膳据え膳で日常の実務に追われること

なく、真摯にお念仏と向き合う貴重な時間をいただきました。みなさんと寝食を共にし、共同作業をする中でご縁も深まり、密度の濃い体験でした。御影堂で、親鸞聖人の御前にてお剃刀をあてていただいたとき、「ああ、漸く正式に門徒の仲間入りをしたんだな」と、安堵の気持ちと気が引き締まる思いがいたしました。

いつも自坊にお参りに来られる、お念仏が身に染みついたおばあちゃんがいます。これまでの私には、お念仏とはどういうものであるかが分からず、ことある毎にお念仏をありがたそうに称えるそのおばあちゃんを、どうやったらそんな風になれるのだろうと羨ましく思っていました。

私はといえば、何か困りごとが起こったときに「阿弥陀さん(泣)(拝)」とすがり、自分に都合の良いときだけ「阿弥陀さんありがとう」と手を合わせるくらいで、それ以外は形だけでした。

でも、このような様々なご縁を通じて、これまで当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではなかったのだと、少しずつ気付かせていただけるようになり、最近では、自然と感謝の気持ちで「南無阿弥陀仏」と手を合わせるようになって

ている気がします。そしてまた、新たな問いが。果たして、気持ちのこもった南無阿弥陀仏と、形だけの南無阿弥陀仏、違うのでしょうか……?



京都教区坊守一泊研修会(講師:東館紹見師)

今、この時に、

親鸞聖人に会う



震災から学ばせられる

東北教区 浜組 西願寺

吉田 光信



2018年8月に京都教務所の書記として着任し、はや7年が経ちました。7年もありますが未だにお会い出来ていないお寺様も多く、教区改編も相まって教区の広さを改めて実感しています。私もお寺の出身です。自坊は、福島県双葉郡富岡町にある西願寺というところで、のんびりとした田舎にあるお寺です。

お恥ずかしい話、お寺の行事ごとには率先して参加したことはなく、両親に

言われながら嫌々参加していた記憶しかありません。

2011年3月1日に高校を卒業して、春から京都の大谷大学に進学するタイミングで3月11日の東日本大震災を体験しました。

自坊は、地震や津波の被害は特にありませんでしたが、福島第一原子力発電所から近い距離にあり、放射能の問題から避難を余儀なくされました。震災から3週間足らずで先の見通しが立たない中、後ろ髪を引かれる思いで両親と別れ京都の大谷大学に進学しました。京都に着いた時に普通に生活している人々を見て「ここは同じ日本なのだろうか」と衝撃を受けたことは今でも忘れません。



新しい西願寺

ご門徒さんからの願いもあり皆さんが集える本堂を再建しました

新しい環境で大学生活がスタートはしましたが、心のどこかで自分が今学んでいることは何の意味があるのだろうかともやややるる気持ちを抱えながら過ごしていました。

そのような気持ちを抱きながら日々の授業を受けていたある日、親鸞聖人の生涯

を辿る授業で流罪のことに触れた時に先生が「親鸞聖人にとって流罪はただ念仏を後悔するきつかけになったのではなく、ただ念仏と向き合うと同時に越後の出会いに感謝する逆縁となったので」と話されました。親鸞聖人の教えから学べることは何もないと思っていた私にとって初めて親鸞聖人を身近に感じることが出来た瞬間でした。

『歎異抄』の第13章に、

「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」

『真宗聖典 第二版』東本願寺出版、七七六頁とあります。人間は縁次第でどうなってしまうかわからない悲しみを持っています。その縁に自分事として頷けるか頷けないかということが大事になってくる



富岡漁港



夜の森桜トンネル(富岡町)

と思います。

私にとって震災は、これまでの生活を一变させた理不尽な縁であり、受入れ難いものでしたが、震災が「あったこと」でボランティア等を通して多くの方に出遇え、また日々の生活の「当たり前」だと思っていたことが何一つ当たり前でないのだと気づかせてくれた縁になっていると思えるようになりました。

悲しみから立ち上がるのはとても大変なことです。現実を受け止められないのも人間の業なのかもしれませんが、それでも私たちはもがきながら生きていくしかありません。人それぞれ悲しみは違いますが、手を合わせ念仏して「南無阿弥陀仏」と称えているときはみんな等しく一緒の存在だと思っています。

ひとひと 男と女の平等 て、なに？



葬儀執行について思うこと

出版部会 近江第26組 徳乗寺 比叡谷 真



先日、近隣寺院の坊守さんが還浄げんじょうされた。私が地元へ帰ってから、組の教化委員会や推進員教習の場で一緒にすることが多く、何かとお世話になりご指導いただいた。また、お手次てつぎのご門徒の葬儀ではいつも鈴役すずやくを務めておられ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて以降は機会がなかったが、かつてはたびたび諷経ふうきやうにお参りして、ともに勤めさせていただいたことを思い出した。

お預かりするお寺では、所属門徒の葬儀の際、私と連れ合いで導師どうし・鈴役を務めている。先代の頃はそうしていなかったのですが、私たちの取り組みとして独自に始めたことだと思いきんできたが、先輩の歩まれた道をたどつてのことだと今更ながら気づかされた。私わたしが生まれる前の話だが、祖母が得度とくどして尼講あまこうに出仕しゆっししていると、お参りのご門徒から、女性僧侶が出仕することについて否

定的な言葉が出たと母から聞いたことがある。葬儀の鈴役についても、地域社会のなかで先例がまったくない状況であれば、私たちの取り組みというのを受け入れられなかったかもしれない。そういう意味では、先輩が歩まれた道というのは、切りひらいてくださった道ということでもあるのだと思う。

命みこと終しゆうされた坊守さんのご母堂どうである前坊守さんも、かつて葬儀の鑿役さくやくをしておられたと聞く。以前にも書いたことだが、先輩方の歩みにうながされて、今、私たちは歩みを賜っている。男女共同参画に取り組むにあたっても、そのことを憶念し続けたい。

※鈴役…葬儀で鳴り物を入れる役
※諷経にお参り…招待僧として参勤すること
※得度…僧侶となるため、門首からお剃刀をいただくこと
※尼講…お寺の女性門徒の集まり

多様性に応えるとは

出版部会 因伯組 萬福寺 藤野 顕生



浄土真宗本願寺派では、女性の法名に付く「尼に」の字が、1986年に（本山では）廃止されました。それ以降、一般寺院でも「尼」を用いない法名が広く定着しているようです。やや遅れて真宗大谷派でも、2025年より法名のあり方が見直されることになりました。東本願寺のホームページでは、「現代においては『釋○○』『釋尼○○』という法名を大切にされる方がいる一方で、性別違和（性別不台）やLGBTQに代表される多様な性を尊重する法名のあり方が問われている」と示され、従来の男女別の授与を基本としつつ、受式者の願い出によつて選択できる制度へと変更されています。

自坊では現在、従来通り女性の法名に「尼」の字をお付けしていますが、ご門徒にトラ

ンスジェンダーの方がおられます。戸籍上は男性ですが、女性的な生き方をされている方です。将来、この方に法名をお付けする機会があれば、「尼」を付ける選択肢もあり得ると考えています。とはいえ、ご本人に「どうしますか」と率直に尋ねることへのためらいも正直あります。今後、性の多様に配慮し、本派のように一律に「尼」を外すことも考えなければならぬのかもしれない。一方で、「ややこしいから外してしまえ」と形式だけに統一することが、多様性に応える姿勢として適切なのかという疑問も残ります。いずれにせよ、「どうしますか」と気軽に相談できるような関係や環境を整えていくことが求められているように感じます。

京都教区 2月の教区事業

4日(水)	9:30～15:30	教区坊守会 真宗基礎講座 (Zoom 併用)	しんらん交流館1階 ABC 会議室
17日(火)・18日(水) 終日		研修講座部会 伝道研修会	教区会館
25日(水)	15:00～18:00	教区准堂衆会 声明会	教区会館 3階 研修室
26日(木)・27日(金) 終日		近畿連区坊守会 坊守会研修会	しんらん交流館 2階 大谷ホール
28日(土)・3/1日(日) 終日		青少幼年部会 青少幼年教化研修会	教区会館

京都教区 2月の教区諸会議

9日(月)	13:00～17:00	教化本部 青少幼年部会 (Zoom 併用)	教区会館 3階 研修室
16日(月)	13:30～16:30	教化本部 企画室	教区会館 2階 大講堂
20日(金)	13:30～16:30	教化本部 出版部会 編集会議	Web 会議 (Zoom)
24日(火)	13:30～15:30	選挙管理会	教区会館 2階 大講堂

教務所からのお知らせ

住職任命者

2025年12月13日

- ・長浜第20組 光輪寺 足利 伸也
- ・山城第1組 法順寺 井上 貴文

長浜教務支所の現金取扱い日について

長浜教務支所の現金取り扱いは、左記のとおりです。

2月9日(月)	2月24日(火)
3月9日(月)	3月23日(月)
4月6日(月)	4月20日(月)
5月11日(月)	5月25日(月)
6月8日(月)	6月22日(月)

教務所・教務支所開所のお知らせ

2026年2月12日(木) から
2月13日(金) まで
所員研修のため、教務所・教務支所を
閉所いたします。

緊急連絡先:
080-6121-0737

「是施陀羅」問題教区学習の開催について

開催日時 2026年4月21日(火)
午後1時30分～4時30分
参加方法 ①しんらん交流館、または
サテライト会場に在所し
て参加

講師 宮下晴輝師(前教学研究所長)
テキスト 『御同朋を生きる』
(発行 真宗大谷派宗務所)

主催 教区教化委員会
教化本部(企画室)

『過去帳』の閲覧について

寺院の『過去帳』に記載されている内容は、
ご門徒の個人情報であり、その漏えいは人
権侵害となりますので、『過去帳』の管理及
び保管については、くれぐれもご注意ください。
い。

また、宗派が取り組んでおります「身元
調査お断り・過去帳閲覧禁止運動」について、
再確認いただきご理解いただきますようお願い
いたします。(詳細は『真宗』2025年9
月号22頁を参照ください)

真宗教団連合 滋賀県支部主催「真宗のつどい」

2026年2月22日(日)に、能登川コ
ミュニティセンター(滋賀県東近江市鉢光寺
町262番地(JR能登川駅西口より徒
歩10分)を会場に開催します。講師は田代
俊孝師。

なお、講演に先立ち合唱団「花あかり」(真
宗大谷派)と「響流」(浄土真宗本願寺派)
による、仏教讃歌が演奏されます。

真宗のつどい

2026年2月22日(日)

日程
13:30 開会式(受付12:30～)
真宗宗歌、和訳正信偈、支那真宗、本道真宗主
14:00 仏教讃歌(本願寺派「響流」、真宗大谷派「花あかり」)
14:40 記念講演
講師: 田代 俊孝 師
議題: 「私たちの仏教入門-いのちを考える-」
15:50 閉会式 事務局長挨拶、息継ぎ

田代 俊孝(たしろ しゅんこう) 師
現職 仁愛大学学長・同朋大学名誉教授、真宗大谷派行願寺住職
経歴 1972年滋賀県生まれ、大谷大学大学院博士後期課程、カリフォル
ニア州立大学長崎分校、同朋大学、同朋大学大学院、本願寺大学宗務研
究所(宗務助)などを経て現職。博士(文学)。専門は真宗学・生命
倫理学。ビートルズの音楽観の一人としての活動もリーダー。
著書『真宗が読める-教団別と真宗別編』(宗務院発行)、『広い世界を
よんで-真宗宗歌の心と歌った「響流」-』(浄土堂発行)、『真宗の
生と死』、『仏教とビートルズ』(光生堂・光生学入門)に法蔵館 他多数

会場 能登川コミュニティセンター ホール
〒511-1205 東近江市鉢光寺町262番地 (JR能登川駅西口より徒歩10分)
コミュニティセンター内の駐車場は、約300台が駐車可能です
できる限り公共交通機関のご利用をお願いいたします

お問い合わせ: 京都教務所(真宗大谷派)
住所: 〒600-8164
京都市下京区上柳町201番地
電話: 075-351-5269

主催: 真宗教団連合 滋賀県支部

依頼「令和6年能登半島地震」

災害に対する救援金の勧募について

2024年1月1日に発生した能登
半島地震に対して、これまで、教区内のみ
なさまから被災地の支援にご理解をたま
わり、救援金をお寄せいただいております
こと、この場をお借りして御礼を申し上げ
ます。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地
は、真宗門徒の多い地域であります。と
りわけ震源地である能登地方は多くの寺
院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もな
お深い悲しみと不安の日々を過ごされてお
ります。真宗大谷派として、今後も全
力を傾注して支援策を講じてまいります。
地震発生直後から、真宗大谷派寺院の被
害状況や今日までの支援活動の様子など
は、真宗大谷派Webサイト内でも随時お
知らせ更新しております。また、公式S
NS(X)でも発信しています。

京都教区としても、息の長い被災地支
援を続けてまいりたいと存じます。なにと
ぞ趣旨をご賢察たまわり、救援金勧募な
どの被災地の支援に引き続きご協力くだ
さいますようお願いいたします。

真宗大谷派Webサイト内
令和6年能登半島地震について

災害情報公式X(旧ツイッター)



京都教区別院 2 月の行事予定

5日(木)	12:00～13:00	赤野井 定例法話(教如上人御命日速夜)	中川 眞 師(別院輪番)	赤野井別院
6日(金)	14:00～16:00	伏見 声明作法講座	浅井 誠 師(山城第3組 皆演寺)	伏見別院
10日(火)	13:30～15:30	山科 同朋の会	磯野 恵嗣 師(教区駐在教導)	山科別院
10日(火)	14:00～16:00	伏見 伏見別院同朋会		伏見別院
13日(金)	10:00～11:30	岡崎 三日講「歎異抄を読む」	近藤 悠 師(別院輪番)	岡崎別院
16日(月)	14:00～16:00	大津 同朋の会 聞法会	上寺 恵美 師(近江第3組 西蓮寺)	大津別院
19日(木)	14:00～17:00	赤野井 湖南地区共催 親鸞講座	沙加戸 崇 師(近江第1組 響忍寺) 治田 保男 師(近江第2組 浄安寺)	赤野井別院
23日(月)	10:00～11:30	岡崎 三日講「蓮如上人を訪ねて」	別院列座	岡崎別院
25日(水)	14:00～15:30	山科 定例法話	小山 大来 師(山城第2組 圓重寺)	山科別院
27日(金)	12:00～13:00	赤野井 定例法話(宗祖親鸞聖人御命日速夜)	中川 眞 師(別院輪番)	赤野井別院
27日(金)	14:00～16:00	伏見 ご命日のつどい	治田 義章 師(近江第2組 善念寺)	伏見別院

京都教区 公式SNSあります

公式 SNS で更新情報などを配信しています。
1,000 力寺を超える寺院・教会がある京都教区ですが、登録者数はまだまだ少ないです！
ぜひご登録をお願いします！



LINE公式アカウント
2026年1月9日現在
登録者数276名
LINE ID @441foywe



Facebook、Instagram ももちろんあります！

編集後記

インフルエンザでしばらく部屋に籠もることになり、退屈しのぎに普段読まないような本を読んでもようと、現代宇宙論(勿論初心者向け)の本を開きました。壮大な宇宙の世界に触れてみると、人間がいかにちっぽけな存在なのか、なぜ人は存在しているのか、と哲学的な問いが湧いてきます。しかし現実には直径 4 m に満たない宇宙(自室)で寝込んでいる身。熱が下ガツタ、飯が食エル、熱が復タガツタ……。宇宙から見ればどうでもよい事なんだろうなあ……。でも自分の事はちっとも後回しには出来ないなあ……。

(出版部会 藤野 顕生)

教区だより表紙写真大募集!!

本誌表紙写真を大募集いたします！
テーマは宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要テーマ「南無阿彌陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」です。詳しくは京都教務所まで。
お待ちしております！



【表紙の写真】「暮れ行く賀茂川」(井上至/山城第2組法泉寺)

真宗大谷派 京都教区 教化広報誌 教区だより 第 429 号

真宗大谷派 京都教区 Web サイト <https://www.k-kyoku.net>

【発行人】宮戸弘(真宗大谷派京都教務所長) 【発行所】真宗大谷派京都教務所 【発行日】2026(令和8)年2月1日
〒600-8164 京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel 075-351-5260 Fax 075-351-5256 Mail kyoto@higashihonganji.or.jp

